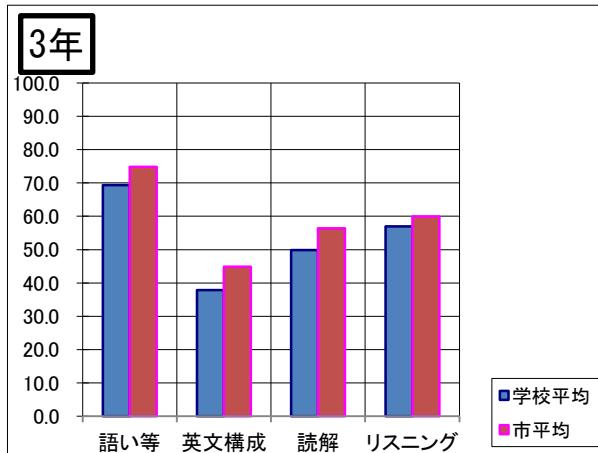


「英語能力判定テスト」結果(分野別正答率)の概要と今後の取組

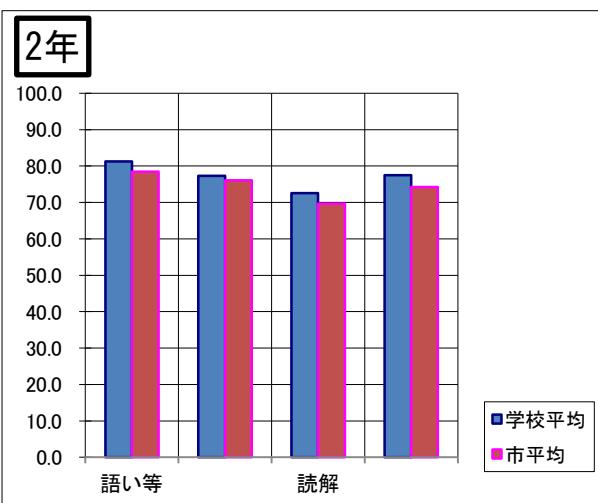
3年	語い等	英文構成	読解	リスニング
学校平均	69.4	37.9	49.9	57.0
市平均	74.8	44.9	56.4	59.9

(%)



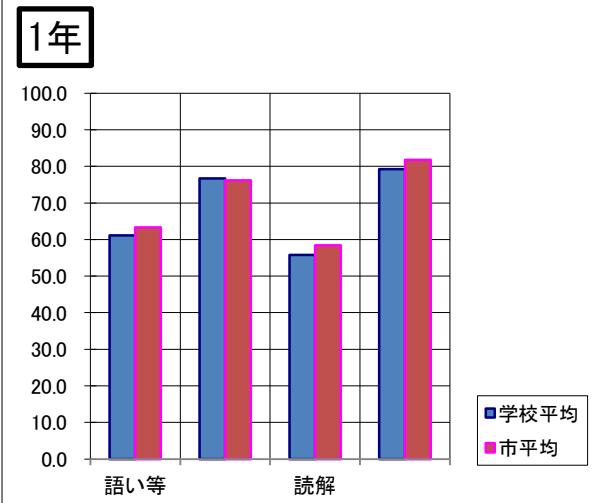
2年	語い等	英文構成	読解	リスニング
学校平均	81.3	77.3	72.6	77.5
市平均	78.5	76.1	69.7	74.2

(%)



1年	語い等	英文構成	読解	リスニング
学校平均	61.1	76.7	55.8	79.2
市平均	63.3	76.2	58.4	81.8

(%)



結果の概要と結果をふまえた今後の取組

※各学年において実施したテストはそれぞれ種類が異なるため、学年間の正答率を比較することはできません。

3年 英検3～5級レベル:スコア 0～460点

《結果の概要》

「語い」の分野の正答率は約7割と高い一方、「英文構成」については、4割に届いていない。全般的に「読むこと」の指導を充実させることが必要である。

《結果をふまえた今後の取組》

語いの定着に関しては、ICTを活用した基礎・基本の定着が一定の効果をあげていると考えられるため、継続して取り組む。「英文構成」は、基本的な語順、文法事項の復習を行ない、「読解力」の向上につなげる。「リスニング」力向上には、C-NETを活用した活動

2年 英検4～5級レベル:スコア 0～400点

《結果の概要》

すべての項目において7割を超え、すべて市平均を上回っている。

《結果をふまえた今後の取組》

ドリル活動にも取り組みつつ、実際に英語を使う中で文型に慣れるよう授業の中での英語の使用量を増やす。また、英語を読む機会を増やし、「読解力」の向上を図る。

1年 英検5級レベル:スコア 0～340点

《結果の概要》

「英文構成」は市平均を少し上回っているが、「語い等」「読解力」「リスニング」が下回っている。

《結果をふまえた今後の取組》

英語構成能力があるが、語彙がないために、文章を読み込む力が低くなっていると考えられる。そのため、単語テストや物語を読ませることによって、語彙力を高め、「読解力」の向上を図る。